

五百瀬工区 (1号地)

〇概要

場所：十津川村五百瀬

地すべり兆候面積：1.30ha

主要工種：アンカー工
排水ボーリング

工期：令和元年 7月 4日から
令和2年 5月 15日完成
(R1翌債)

工期：令和2年 8月 7日から
令和3年 3月 12日完成
(R2経常)

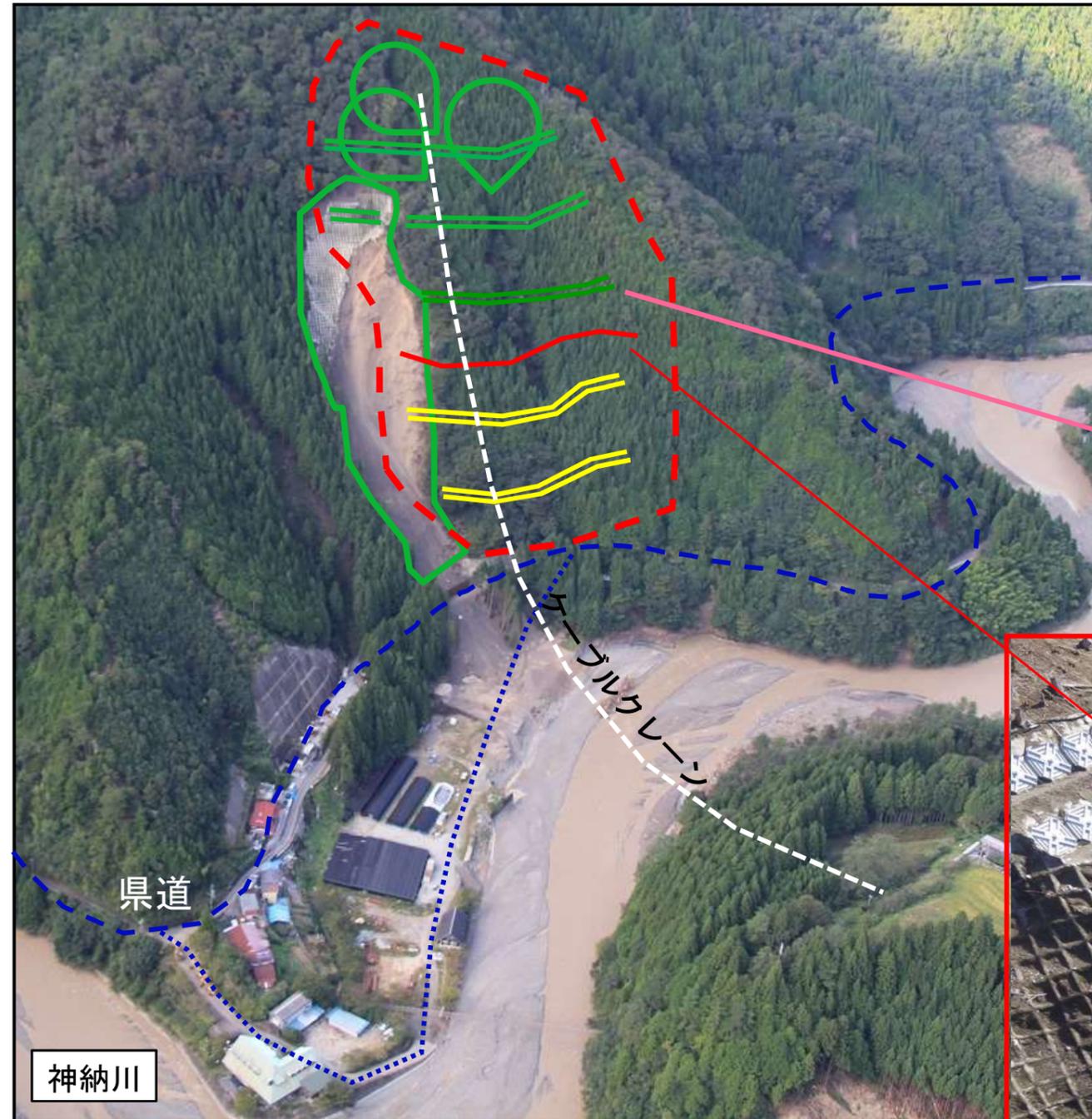
概要

山腹崩壊斜面の復旧が完了したため、地すべりの兆候が見られる斜面について、アンカー工及び排水ボーリング工により、地すべり土塊の安定化を図ります。

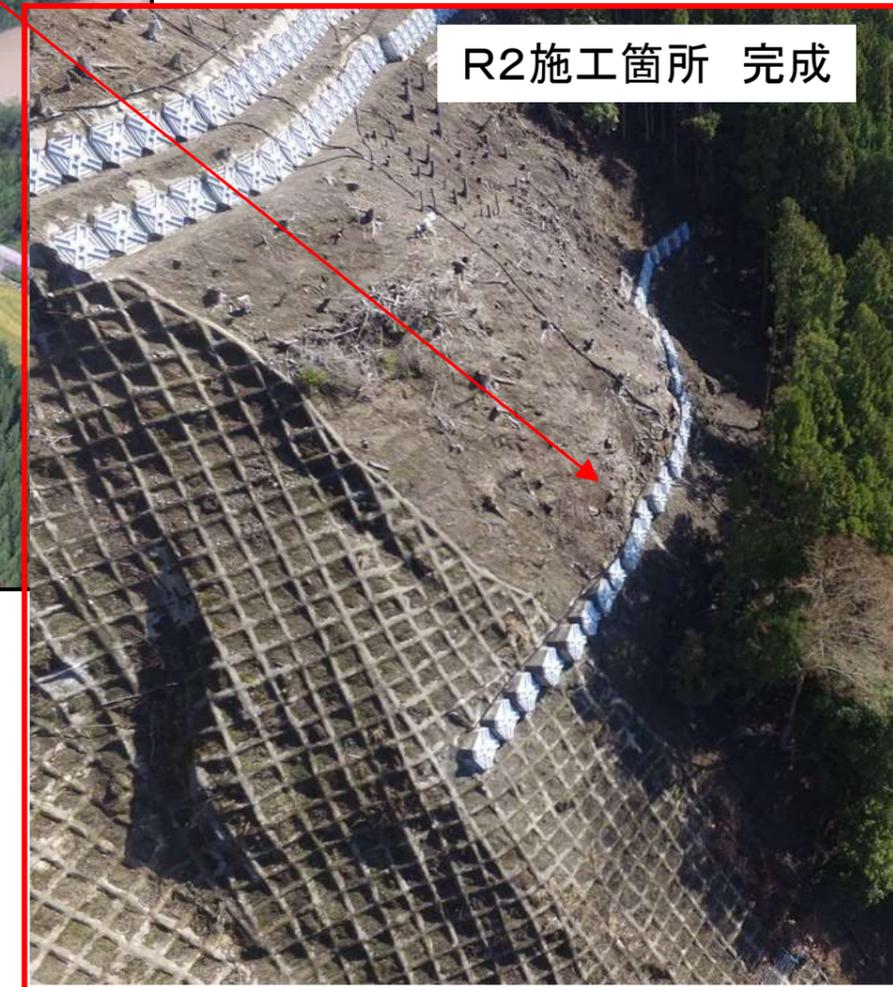
〇位置



〇復旧状況



アンカー工 完了状況 (R1翌債)



R2施工箇所 完成

凡 例	
	既設
	R2施工箇所
	次年度以降計画

令和3年3月現在

凡 例	
	既設
	R2施工箇所
	次年度以降計画

五百瀬工区(2号地)

〇概要

場所：十津川村三浦

崩壊地面積：4.35ha

主要工種：谷止工、山腹工

工期：令和 元年 9月13日から
令和 2年 4月30日完成
(R1翌債)

工期：令和 2年 7月 2日から
令和 3年 3月12日完成
(R2経常)

概要

山腹崩壊地の下部に堆積している不安定な土砂を谷止工で安定させます。また、崩壊地上部に山腹工を行って斜面を安定させ、森林を復旧します。

〇位置



〇復旧状況



令和3年3月現在

濁谷工区

○概要

場所：十津川村宇宮原

崩壊地面積：16.5ha

主要工種：谷止工、山腹工

工期：令和2年7月2日から
令和3年3月12日完成

概要

山腹崩壊地の下部に堆積している不安定な土砂を谷止工で安定させます。また、崩壊地上部に山腹工を行って斜面を安定させ、森林を復旧します。

令和2年度は、谷止工間に流路工を設置し、崩壊地最下流の安定を図ります。

○位置



○復旧状況



凡 例	
	既設
	R2施工箇所
	次年度以降計画



令和3年3月現在

内野工区

〇概要

場所：十津川内野
 崩壊地面積：4.79ha
 主要工種：谷止工、山腹工
 工期：令和元年 7月4日から
 令和2年 6月30日完成
 (R1翌債)
 工期：令和2年 7月10日から
 令和3年 3月12日完成
 (R2経常)

概要

山腹崩壊によって土砂が流出し、不安定な土砂が堆積しているため、谷止工により溪床・溪岸を安定させ、山腹工により斜面の安定を図ります。
 今年度は上部の斜面安定工を計画。

〇位置



〇復旧状況



凡 例	
	既設
	R2施工箇所
	次年度以降計画



山天地区

○概要

場所：十津川村山天
 崩壊地面積：1.41ha
 主要工種：谷止工、山腹工
 工期：令和元年 7月 4日から
 令和2年 6月30日完成
 (R1翌債)
 工期：令和2年 7月10日から
 令和3年 3月12日完成
 (R2経常)

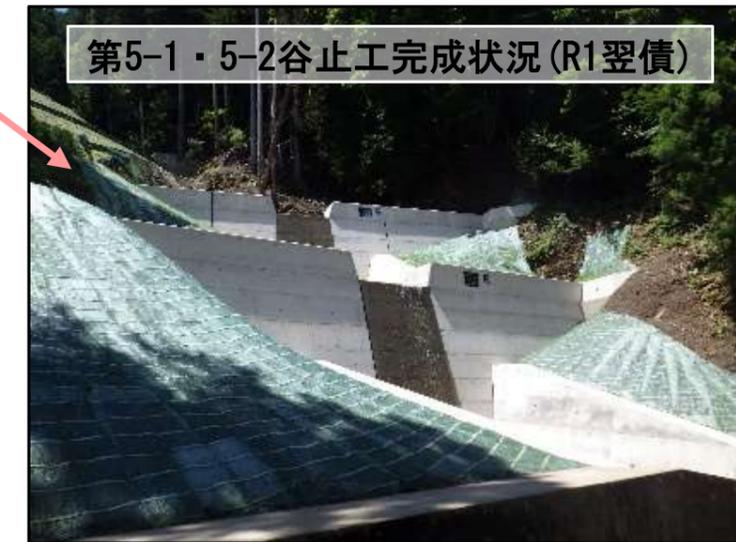
概要

山腹崩壊地の下部に堆積している不安定な土砂を谷止工で安定させます。また、崩壊地上部に山腹工を行って斜面を安定させ、森林を復旧します。
 H29年度に完成しましたが、想定外の集中豪雨により再崩壊したことから計画を見直し復旧工事を実施します。

○位置



○復旧状況



凡 例	
	既設
	R2施工箇所
	次年度以降計画

令和3年3月現在

野尻工区

○概要

場所：十津川村野尻

崩壊地面積：20.44ha
 主要工種：谷止工、山腹工
 工期：令和元年 7月19日から
 令和3年 1月31日完成
 (R1翌債)

概要

山腹崩壊によって土砂が流出し、不安定な土砂が堆積しているため、谷止工により溪床を安定させ、上部の山腹工を施工して斜面全体の安定を図ります。

○位置



○復旧状況

崩壊地

第4号谷止工

第3号谷止工

第2号谷止工

第1号谷止工

第1号床固工

風屋ダム

R1翌債 施工前

R1翌債施工箇所 完成

凡 例	
■	既設
■	R1翌債施工箇所
■	次年度以降計画

山崎谷工区(2号地)

概要

場所：十津川村山崎

崩壊地面積：2.45ha

主要工種：護岸工、山腹工

工期：令和2年6月9日から
令和3年3月12日完成

概要

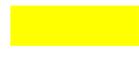
山腹崩壊によって土砂が流出し、不安定な土砂が堆積していることから、護岸工と山腹工により山腹の土砂を安定させ、森林に復旧させる工事を行います。

位置



復旧状況



凡 例	
	既設
	R2施工箇所
	次年度以降計画



山崎谷地区 (3号地)

〇概要

場所：十津川村山崎

崩壊地面積：1.97ha

主要工種：谷止工、山腹工 (土留工)

工期：令和 2年 6月 9日から
令和 3年 3月 12日完成

概要

山腹崩壊地の下部に堆積している不安定な土砂を谷止工で安定させます。また、崩壊地上部に山腹工を行って斜面を安定させ、森林を復旧します。

〇位置



〇復旧状況



凡 例	
	既設
	R2施工箇所
	次年度以降計画



3号地 崩壊状況



令和3年1月現在

今西工区

○概要

場所：十津川村今西

崩壊地面積：12.5ha

主要工種：谷止工、山腹工

工期：令和2年3月6日から
令和3年1月18日完成
(R1翌債)

概要

山腹崩壊によって土砂が流出し、不安定な土砂が堆積しているため、谷止工により溪床を安定させて土砂の流出の抑止・調整を図ります。

○位置



○復旧状況

凡 例	
	既設
	R2施工予定箇所
	次年度以降計画



山腹崩壊地より流出した不安定土砂の状況

第2-1号コンクリート谷止工
2年度に分けて半分ずつ施工します

第3号谷止工

R1翌債施工箇所 (完成 R3. 1月)

H30翌債施工箇所

第4号谷止工 完成状況

第2-1号コンクリート谷止工

長殿(テラ谷)工区

○概要

場所：十津川村長殿

崩壊地面積：2.75ha

主要工種：谷止工、山腹工

工期：令和2年3月12日から
令和2年12月27日完成

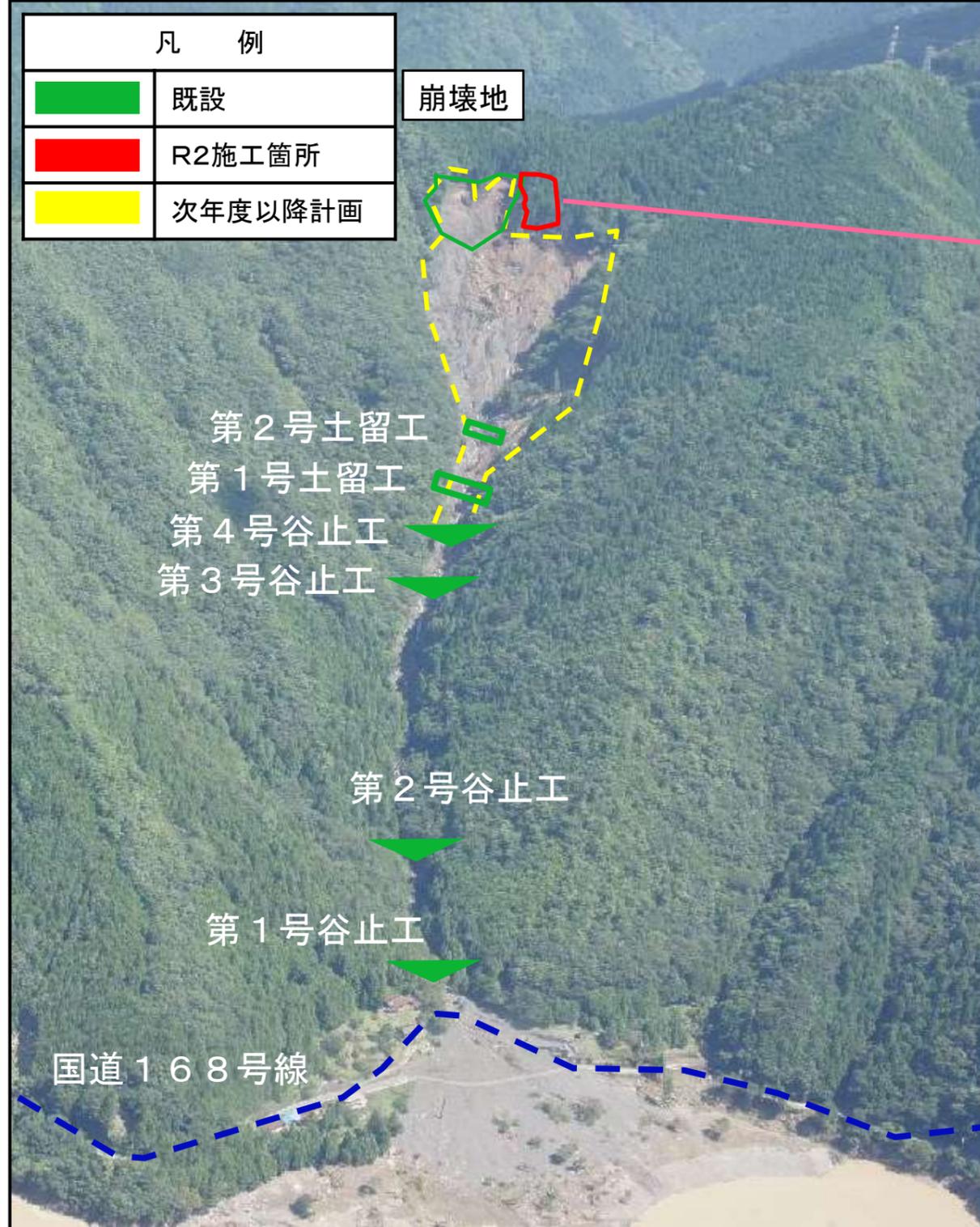
概要

山腹崩壊によって土砂が流出し、不安定な土砂が堆積しているため、谷止工により溪床・溪岸を安定させ、山腹工により斜面の安定を図ります。

○位置



○復旧状況



斜面安定工施工箇所(R3.1月完成)

